

アサヒビール

アサヒビール大山崎山荘美術館で「英国叙景
—ルーシー・リーと民芸の作家たち—」展
来年1月4日まで約3カ月間にわたって開催

アサヒビール大山崎山荘美
術館(京都府乙訓郡大山崎町)
では、今年10月11日から来年
1月4日まで企画展「英国叙
景—ルーシー・リーと民芸の
作家たち—」を開催している。

バーナード・とリーチ
と生涯にわたって交流

オーストリアのウィーンに
生まれた陶芸家、ルーシー・
リー(1902〜1995)



バーナード・リーチ《スリップウェアペリカン図大皿》

は1938
年、戦争の
危機が迫る
なか英国に
渡る。ロン
ドンに居を
定め、服の
ためのボタ
ン制作をし
ながら困窮
に耐え作陶
を再開、や
がて静謐さ
に満ち洗練
された都市
の陶芸とも

いえる作品を制作し続けた。
そんなリーはロンドンでの制
作を始めたころバーナード・
リーチ(1887〜1979)
を訪ねている。

英国陶芸界の第一人者であ
ったリーチとルーシー・リー
との交流は生涯にわたって続
き、リーチを介して柳宗悦(1
889〜1961)や濱田庄
司(1894〜1978)と
も知遇を得ている。リーチと
ともに日本から英国へ渡り、
現地で伝統的な登り窯の築窯
に尽力した濱田庄司、英国か
らもたらされた伝統的なスリ
ップウェアに触発され、自ら
の作品に取り入れた河井寛次
郎(1890〜1966)な
ど民芸運動の担い手たちには、
それぞれに英国との出会いが
あったという。

同展では、このルーシー・
リーとバーナード・リーチの
作品を中心に民芸運動の担い
手たちの英国像が映じだされ
た作品群を紹介するとともに
関連展示として美術館本館で
ある「大山崎山荘」を建設し



ルーシー・リー《茶釉線文鉢》(Estate of the artist)

た実業家・加賀正太郎(18
88〜1954)と英国の深
い絆を示す遺品である版画集
『蘭花譜』も展示する。主要
な展示作品はルーシー・リー
の『茶釉線文鉢』(1960
〜70年代頃、磁器)、バーナ
ード・リーチの『スリップウ
ェアペリカン図大皿』(19
30年、陶器)、濱田庄司の『白
釉胴紐注瓶』(1960年頃
陶器)、河井寛次郎の『スリ
ップウェア線文鉢』(193
0年頃、陶器)などになり、
会期中展示替えを行う。

12月16日〜25日にクリ
スマス特別企画を開催

また、同展の関連イベント
として、同美術館学芸員によ



河井寛次郎〈スリッパウエ線文鉢〉

「ミカド」の100年前から変わらな
い響きを
じっくり
と堪能し
て欲しい
という。
このほ
か、同美
術館本館
2階の喫
茶室では
同展期間
中、カフ

エ企画としてリーガロイヤルホテル京都が同展のために考案したオリジナルスイーツセット「アクア・ヴィター命の水」(竹鶴ピュアモルトを贅沢に使用したサヴァラン風ケーキ&ゼリーにビスキュイチヨコマカロンを添えた日本のウイスキーの父・竹鶴政孝とその妻リタの物語に敬意を表する大人のデザート、500円・税込)と印象派の画家、クロード・モネが晩年を過ごしたジヴェルニーの邸宅の庭から着想を得た2種類の特製オリジナルケーキ(モネのガーデンセレクト「ガトー・ド・マロン」/フランス産の栗ベリーストをたっぷり使用したしつかりとした味わいのマロンケーキはモネが晩年を過ごしたパリ郊外のジヴェルニー村のおだやかな秋の情景をイメージ、500円・同、モネのガーデンセレクト「ガトー・ド・プールプル」/日本産の紫いもを使用したラムレーズンケーキはモネが愛した睡蓮の花をイメージ、500円・

る展示の見どころ解説「ギャラリートーク」(同展期間中の第2、第4土曜日、各回午後2時〜2時30分、会場・同美術館展示室、参加費・無料。ただし美術館入館料は別途必要、事前申込不要)、クリスマス特別企画「オルゴール・モーニング」(12月16日〜12月25日、午前11時〜11時20分、会場・同美術館本館2階、参加費・無料。ただし美術館入館料は別途必要、事前申込不要)

要)が行われる。同イベントのうち、「オルゴール・モーニング」は同館学芸員により同美術館本館2階に設置しているドイツのポリフォン・ムジクヴェルケ社製オルゴール「ミカド」のドイツの交換実演を行うとともに解説を交えながら3曲を演奏するもので、ポリフォン社製オルゴールでは最大のディスプレイを使用するモデルで豊かで力強い音色を特色とする

同)を提供している。なお、アサヒビール大山崎山荘美術館は陶磁器を中心として、漆器、染色、織物、日本画、西洋絵画、現代彫刻などで構成される約1000点を所蔵、そのうち約100点を常設陳列し、季節や企画展に合わせて随時展示替えを行っている。また、同美術館へのアクセスはJR東海道線・山崎駅



濱田庄司〈白釉胴紐注ぎ瓶〉

たは阪急京都本線・大山崎駅から徒歩約10分で、入館料は一般900円(20名以上の団体・800円)、高大生500円(同・400円)、中学生以下無料。障害者手帳保有者300円、開館時間は午前10時から午後5時(最終入館:午後4時30分)、休館日は毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日、ただし11月17日、25日、12月1日、8日は閉館)と年末年始休館(2014年12月26日〜2015年1月2日)となっている。

また、同美術館へのアクセスはJR東海道線・山崎駅